

教科(科目)	数学C	単位数	2	学年(系)	6年
使用教科書	高等学校 数学C (数研出版)				
副教材等	① 新課程 教科書傍用 クリアー 数学C [ベクトル, 複素数平面, 式と曲線] ② 新課程チャート式 解法と演習 数学C (数研出版) ③ 10日あればいい! 2027 大学入試短期集中ゼミ 大学入学共通テスト 数学II・B・C(実教出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

3 指導の重点

基礎的な事項の確実な定着をはかり、確かな学力を養成する。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにしている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察したりする力を養おうとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養おうとしている。

5 評価方法

評価方法	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小考査（小期末、小中間） ・長期休業明けの実力テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・小考査（小期末、小中間） ・長期休業明けの実力テスト などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・各考査 ・授業の取り組み （授業態度や学習活動への参加状況） ・課題への取り組み状況、朝テスト、 レポート などから総合的に評価します。
内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。			

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	平面上のベクトル	教科書 ①②	平面上のベクトルの意味や表し方、演算、内積などの基本的な概念や性質について理解できるようにする。 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする力を養う。更に、数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用する力を養う。	15	・定期考査 ・授業の取組（授業態度や学習活動への参加状況） ・課題への取組状況 ・宿題の提出状況・毎週の朝テスト・レポート
6 7	空間のベクトル	教科書 ①②	座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解できるようにする。また、ベクトルを用いて空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする力を養う。	12	・定期考査 ・授業の取組（授業態度や学習活動への参加状況） ・課題への取組状況 ・宿題の提出状況・毎週の朝テスト・レポート
8 9 10	複素数平面	教科書 ①②	複素数平面を用いて複素数を図表示し、複素数の実数倍、和、差、積及び商の幾何学的な意味を理解できるようにし、図形の移動などに関連付けて複素数の演算などの意味を考察する力を養う。	13	・定期考査 ・授業の取組（授業態度や学習活動への参加状況） ・課題への取組状況 ・宿題の提出状況・毎週の朝テスト・レポート

10 11 12	式と曲線	教科書 ①②	幾何学的な定義に基づいて導き出された2次曲線の方程式とその概形について考察し、2次曲線の基本的な性質を理解できるようにするとともに、解析幾何学的方法についての理解を深める。 曲線を表す式として媒介変数を用いた式や極方程式を理解できるようにし、それらを具体的な事象の考察に活用する力を養う。	18	・定期考査 ・授業の取組（授業態度や学習活動への参加状況） ・課題への取組状況 ・宿題の提出状況・毎週の朝テスト・レポート
12 1	大学入試演習	②③	マーク式の実践形式の問題集を使用して、テスト→解説の流れで授業を実施し、共通テストに向けた実践力をつける。	8	
1 2	大学入試演習	②③	大学の2次試験や、私立大学受験で、数学が必要な生徒対象に大学入試演習を行い、合格できる力を養う。	7	

計73時間（48分授業）

7 課題・提出物等

- ・各単元終了後に単元テストを行います。
- ・週末課題・平日課題があります。朝テストの内容にもなります。

8 担当者からの一言

数学Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を使い、数学に関する知識を広げていきます。ベクトルなど日常的に使う内容も学びます。数学的な考え方を広げていき、将来、様々な分野で活躍できるように学習を深めていきましょう。